

平成24年度 租税教育実践例（第6学年）

登米市立東郷小学校

教諭 後藤 大典

1 単元名 社会科「わたしたちの生活と政治」

小単元名 わたしたちの願いを実現する政治～税金の働きを知ろう～

2 指導にあたって

（1）単元について

本単元の学習指導要領の内容（2）「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること」を受けて構成されている。ここでは、国民生活には地方公共団体や国の政治が反映していること、日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など、国家や国民生活の基本を定めていることを調査したり、資料を活用したりして調べ、我が国の政治の働きを具体的に考える活動をする。

単元の構成にあたっては、「地方公共団体や国の政治の働き」と「日本国憲法の基本的な考え方」の2つに分けて、具体的な公共施設が住民の願いのもとに作られる過程を知ることや、それらは日本国憲法という大きな柱のもとで作られていることに気付かせていく。また、国民生活と政治の結びつきについて関心をもたせ、その中で税金が果たす役割について知ることやどのような税があるかを知ることにもねらいとしている。

児童は、学習の中で税金に関わっているものに触れる機会が多いといえる。消防署や警察署、また関税についても触れている。第6学年の「日本の歴史」の中でも時代によつての税金について学んできた。ここでは、現代社会の税金の仕組みについて興味・関心を高めながら知識を培っていききたい。

3 指導の着眼

- ① 社会科の歴史や政治の学習の中で「税金」に関わる単元を意識して取り上げ、税金に触れさせながら学習に取り組ませていく。
- ② 税務署からゲストティーチャーを招いて租税教室を実施することで、税に関する専門的な知識を学び、税金についての理解をより深めていく。







4 本時の学習


（1）小単元名 「税金の働きを調べる」

（2）本時のねらい

税金が私たちの生活に重要な役割を果たしていることと、納税が私たちの大切な義務であることを理解する。

(3) 学習の流れ

	学習活動	学習の様子
つかむ5分	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分たちの生活と税金のかかわりについて考えよう</p> </div> <p>2 ゲストティーチャーを紹介する。</p>	 <p>○ゲストティーチャーの紹介。</p>
広げる	<p>3 税務署の方の話を聞き、様々な税金について考える。</p> <p>(1) 知っている税金を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税 ・所得税 ・自動車税 <p>(2) 世界の消費税について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の消費税は5%で、世界の国々と比べて低い方だ。 ・消費税が20%の国もある。消費税の高い国は、充実して老後も安心して暮らせる。大学まで授業料が無料という国もある。 <p>4 税金の必要性について考える。</p> <p>(1) 消費税は払いたいのか、払いたくないか発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金はみんなのために必要だから払った方がいい。 ・消費税があることでお金が足りなくなるから嫌だ。 <p>(2) ビデオ「マリンとヤマトの不思議な日曜日」のDVDを視聴し、もしも税金がなくなったらどうなるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミが街中に散らかっていて汚くなるのは嫌だ。 ・橋が壊れても直せないのは困る。 ・火事になっても消火に多額のお金がかかってしまう。 <p>(3) 学校と税金のかかわりを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校に月謝があったら月7万円になるなんて驚いた。 ・学校が税金によって運営されていることがよく分かった。 ・顕微鏡や机など学校の備品は高価なものが多い。 ・税金は保護者が納めていることが分かった。 <p>(4) 1億円の量と重さを体感し、高額な金額の実感をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10kgもある。 ・考えていたよりも重い。 ・国家予算は90兆円だからすごい重さだ。 ・国民が力を合わせて納めた税金だから大切にしなければ。 	 <p>○知っている税を聞く。</p>  <p>○各国の税率について知る。</p>  <p>○税金の必要性について考える。</p>  <p>○税金のない世界に驚く児童。</p>  <p>○1億円の重みを実感する。</p>

まとめる	<p>5 感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今学校で使っているものを大切にしようと思った。 ・自分たちに多くの税金がかかっていることが分かった。 	 <p>○税に対する関心が高めることができた。</p>
------	--	--

(4) 評価

税金が自分たちの生活と密接にかかわっていることや税金の必要性について理解することができたか。

5 まとめ

- ・ 社会科の学習内容の中には、たくさんの税金に関する内容があることを確認することができた。税金の成り立ちなどを意識的に取り上げて歴史の授業を進めてきたことで、「租・調・庸」や「年貢」、「関税自主権の撤廃」などのいろいろな時代の税に対する興味・関心が高めることができ、学習内容の定着が図られた。
- ・ ゲストティーチャーによる授業を実施したことで、児童が知らなかった税金に関する内容を専門的な知識に触れることができ、税金の大切さを実感することができた。